

平成26年度通常総会

日 時 平成26年5月23日(金) 午後2時
会 場 城山観光ホテル (ロイヤルガーデン:2F)

公益社団法人 鹿児島県工業倶楽部

総 会 次 第

- 1 開 会
 - 2 会長挨拶
 - 3 来賓挨拶
 - 4 成立宣言
 - 5 議長選出
 - 6 議 事
 - (1) 議事録署名人選出
 - (2) 議 案
 - 議案第1号 平成25年度事業報告及び決算の承認について
(監 査 報 告)
 - 議案第2号 理事・監事改選について
 - (3) 報告事項
 - ① 平成26年度事業計画及び収支予算について
 - ② 基本財産からの繰入れについて
 - 7 その他
 - 8 閉 会
- (休 憩)
- 9 臨時理事会 (正副会長選出)

◇ 講演会

演 題 「鹿児島県の製造業成長のための対策
－営業力強化、新商品開発、人材育成、事業多角化、
経営者のやる気等々－」

講 師 古賀マネジメント総研株式会社
代表取締役
古 賀 光 雄 氏

◇ 交流パーティー

(ロイヤルガーデン: 2F)

議案第 1 号 平成 25 年度事業報告及び収支決算について

〔事業報告〕

鹿児島県工業倶楽部は、社団法人から公益社団法人に移行したことに伴い、これまでの会員を対象とした活動から、非会員企業も含め、広く県内工業の発展を図るための活動が求められている。

平成 25 年度は、鹿児島県の委託事業である「ものづくり企業元気おこし交流事業」に取り組み、工業倶楽部会員のみならず非会員企業等も多数参加し、各テーマごとの検討会を通じ、大学の先生方との交流や異業種間の交流が深まり、新たな商品の企画に結びつく動きが起こり始めてきた。

さらに、産学官連携を推進するため、鹿児島大学、鹿児島高等専門学校や県、(公財)かごしま産業支援センター、県工業技術センター等との連携を進めながら、新しい連携のあり方を模索し、昨年引き続き、鹿児島大学稲盛会館で「第三回食と健康に関するシンポジウム」を開催したほか、鹿児島大学や鹿児島高等専門学校が主催するラボツアーや産学官連携コーディネーター会議等へ参加したところである。

その他、ベンチャープラザ鹿児島二水会の開催や工業倶楽部の各プラザ、部会の活動促進のための支援や、会報の発行等により会員企業への情報提供などに努めた。

〔主要事業〕

I 講演会等

1 平成 25 年度通常総会記念講演会

- ・日時 平成 25 年 5 月 27 日(月)
- ・場所 城山観光ホテル(ルビーホール飛天)
講演 「過疎集落から世界のマーケットに」
講師 石川県羽咋市教育委員会 文化財室長 高野 誠鮮氏
- ・参加者(93名)

2 第三回 食と健康に関するシンポジウム～「進化するかごしまの食材」～

- ・日時 平成 25 年 11 月 19 日(火)
- ・場所 鹿児島大学稲盛会館
- (テーマ 1. 食品の品質管理と健康)
- ・講演 1 「健康をサポートする油脂の機能性」
九州大学名誉教授 菅野 道廣氏
- ・講演 2 「食用油の適正な食品利用」
日清オイリオグループ(株) 執行役員 青山 敏明氏
- ・講演 3 「病気にならない油脂の摂取方法」
鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科教授 西尾 善彦氏

(テーマ 2. 鹿児島の食を守り、育てる)

- ・講演 4 「シラスウナギ安定生産に向けた取り組み(完全養殖への展望)」
(独)水産総合研究センター増養殖研究所志布志庁舎
主任研究員 今泉 均氏
- ・講演 5 「安全な高機能飼料で守る畜産王国」
鹿児島大学農学部准教授 大塚 彰氏
- ・講演 6 「藻場を守り、未利用海藻を資源に」

- 鹿児島大学水産学部准教授 寺田 竜太氏
- ・総括 鹿児島大学水産学部教授 木村 郁夫氏
- ・参加者 250名、シンポジウム終了後、講師を交えて交流会を実施。

3 平成26年工業倶楽部新年大会

- ・日時 平成26年1月19日(火)
 - ・場所 城山観光ホテル ロイヤルガーデン
- 祖業として成長を支えてきた繊維事業を大胆に縮小し、代わりにフィルムや樹脂、ライフサイエンスといった非繊維産業への転換を自ら進めた実体験に基づく、「停滞は悪、挑戦は善」という理念での貴重な講演をいただいた。

演題 「素材力でイノベーション」～技術と市場をむすぶ～
 講師 東洋紡株式会社 代表取締役社長 坂元 龍三氏
 参加者 160名

II ものづくり企業元気おこし交流事業 (鹿児島県委託事業)

異業種間の交流・連携により企業のニーズと大学の研究シーズとのマッチングを行い、新製開発や販路拡大等を支援するため次の事業を実施した。

1 事業の進め方

- (1) 第1回代表者会議 (5/18)
 - ・事業の進め方についての説明、意見交換 (会議15名参加)
- (2) 第2回代表者会議 (7/31)
 - ・テーマの設定 (3グループ)
 - ・グループ編成、検討会の進め方について承認

2 事業実施内容

- (1) ものづくり企業元気おこし交流事業講演会 (7/31)
 - (基調講演) 140名
 - ① 薄膜技術の繊維素材への応用
鹿児島大学大学院 理工学研究科 小原幸三教授
 - ② 光合成細菌の農業分野への有効利用
鹿児島大学水産学部 食品・資源利用学分野 前田広人教授
(事例発表)
 - ① LED照明で、新しい照明文化創りを目指す～野武士集団～
交和電気産業株式会社 開発部 統括部長 種田 修氏
 - ② 高濃度窒素排水の高速除去
株式会社栄電社 バイオ環境グループ マネージャー
川路博文氏

(交流会) 60名

(2) 異業種交流会の開催

- ① テーマの設定
 - ① ナノサイエンスを用いた電子エネルギー制御による原子改質技術
～薄膜技術の繊維素材への応用～
鹿児島大学大学院 理工学研究科 小原 幸三 教授
 - ② バイオビジネスにおける善玉菌と悪玉菌
～光合成細菌の農業分野への有効利用～
鹿児島大学水産学部 食品・資源利用学分野 前田 広人 教授

- ③ 生物未利用資源の活用技術
～水産資源の食品・畜産分野等への利用～
鹿児島純心女子大学 看護栄養学部 健康栄養学科 中野 隆之 教授

② 各グループの検討会（開催日時、場所）

- ① ナノサイエンスを用いた電子エネルギー制御による原子改質技術
～薄膜技術の繊維素材への応用～
鹿児島大学大学院 理工学研究科 小原幸三教授

第1回：平成25年8月29日(木) 15:00 鹿児島大学工学部講義棟123号教室
第2回：平成25年10月24日(木) 14:30 鹿児島大学工学部講義棟111号教室
第3回：平成25年12月19日(木) 14:00 鹿児島大学工学部講義棟121号教室
工場視察：平成26年1月16日(木)アルバック九州(株)(霧島市横川町上ノ3313～1)

<延べ参加者数76名>

- ② バイオビジネスにおける善玉菌と悪玉菌
～光合成細菌の農業分野への有効利用～
鹿児島大学水産学部 食品・資源利用学分野 前田広人教授

第1回：平成25年8月27日(火) 14:30 鹿児島大学水産学部1号館2F大会議室
第2回：平成25年10月17日(木) 14:30 鹿児島大学水産学部1号館2F大会議室
現地視察：平成25年11月26日(火) かのやばら園 (鹿屋市浜田町1250)
第3回：平成25年12月12日(木) 14:00 鹿児島大学水産学部1号館2F大会議室

<延べ参加者数113名>

- ③ 生物未利用資源の活用技術
～水産資源の食品・畜産分野等への利用～
鹿児島純心女子大学 看護栄養学部健康栄養学科 中野 隆之 教授

第1回：平成25年8月23日(金) 14:00 産業会館 7F 会議室
第2回：平成25年10月18日(金) 14:30 ソフトプラザ 2F 会議室
第3回：平成25年12月12日(木) 14:00 鹿児島大学水産学部1号館2F大会議室

<延べ参加者数74名>

③ 合同発表会の開催

平成26年1月21日(火)開催の工業倶楽部新年大会(城山観光ホテル)において、各テーマ毎に現状及び今後の展望について発表、及び東洋紡株式会社坂元龍三社長の講演を実施。

演題：「素材力でイノベーション ～技術と市場をむすぶ～」

(3) 研究シーズ等の発表

①「食産業部会 9 月例会(研究シーズ発表会)」

日時：平成 25 年 9 月 12 日(木) 15:30～17:30

場所：(有)マチダ商事「菓子・パン材料のお店M(エム)」2階講習会場
(鹿児島市中央町 36-16)

生物未利用資源の活用技術—水産資源の食品・畜産分野への利用
鹿児島純心女子大学看護栄養学部 中野隆之教授

<参加者> 20名

②「84 プラザ 1 月例会(研究シーズ発表会)」

日時：平成 26 年 1 月 30 日(木) 17:00～

場所：ソフトプラザかごしま 2 階展示会議室 (1) (鹿児島市名山町 9-15)

「奄美黒糖焼酎の高品質化に関する研究」

鹿児島県工業技術センター 安藤義則主任研究員

<参加者> 16名

③「川薩地区プラザ 2 月例会(研究シーズ発表会)」

日時：平成 26 年 2 月 17 日(月) 17:00～

場所：川内ホテル(薩摩川内市鳥追町 7-5)

生物未利用資源の活用技術～水産資源の食品・畜産分野への利用～

鹿児島純心女子大学看護栄養学部 中野隆之教授

<参加者> 30名

④「大隅地区(研究シーズ発表会)」

日時：平成 26 年 3 月 12 日(水) 13時30分～15時30分

場所：鹿屋市農業研修センター (鹿屋市札元 1-21-7)

「バイオビジネスにおける善玉菌と悪玉菌

～光合成細菌の農業分野への有効利用～」

鹿児島大学 水産学部 食品・資源利用学分野

前田広人教授

「生物未利用資源の活用技術

～水産資源の食品・畜産分野への利用～」

鹿児島純心女子大学 看護栄養学部 健康栄養学科

中野隆之教授

<参加者> 38名

(4) 他県異業種交流グループ等の視察及び交流

① 日程・視察先等

・日程：平成 25 年 10 月 22 日(火)～23日(水)

・訪問先：

(イ)10月22日(火)午後

生産技術開発協同組合(熊本県の産業用機器開発関連 企業組合)の2社

・株式会社 プレシード : 上益城郡嘉島町井寺 250 - 9

・株式会社 アラオ : 熊本市南区富合町釈迦堂 388

交流会：宿泊ホテルにて、生産技術開発協同組合の代表者6名との意見交換・懇談会を実施

(ロ)10月23日(水)午前

熊本県庁 くまもとブランド推進課(くまモン担当課)

・ホテル熊本テルサ(県庁近く): 熊本市中央区水前寺公園28-51

・「ゆるキャラから売るキャラへ-「くまモン」にみるブランド戦略-

・参加者: 14名

Ⅲ ベンチャープラザの開催

(公財)かごしま産業支援センター、(社)九州ニュービジネス協議会と共催でベンチャープラザ鹿児島「二水会」を開催。(年4回---5月,8月,11月,2月の第2水曜日)

1 第57回 5月14日(水)

①マンガプロジェクト鹿児島(鹿児島市) ②株式会社YSフーズ(鹿児島市) 有限会社Alive Cast(福岡市)

2 第58回 8月7日(水)

①有限会社True Balance(鹿児島市) ②南洲農場株式会社(肝付町) ③株式会社CHAOS・SYSTEMS(熊本県上益城郡)

3 第59回 11月13日(水) 93名

①有限会社藤井ピアノサービス(薩摩川内市)「グランドピアノの音色・弾き心地がアップライトピアノで実現!」 ②株式会社小田豊商会(鹿児島市)「誰でもどこでも使える畳洗える畳『洗畳』からの成長」 ③株式会社シー・アール・シー(福岡市)「消滅型家庭用及び業務用生ごみ処理機の販売」

4 第60回 2月12日(水) 118名

【第1部】60回記念講演

演題 「ピンチをチャンスに変える方法」

講師 株式会社晴天(あおぞら) 代表取締役 白水ルリ子

【第2部】ビジネスプレゼンテーション

①(一社)鹿児島県情報サービス産業協会(鹿児島市)「鹿児島発! 暇つぶし観光お助けスマートフォンアプリ『ひまナビ』のご紹介」 ②株式会社しか屋(鹿児島市)「納豆サプリ」 ③株式会社サムライト(福岡市)「携帯型タブレット端末を活用した介護予防講座事業展開」

Ⅳ プラザ等の活動

異業種交流を旨とする当倶楽部の中心的活動主体であり、グループごとに自発的に例会を開催し、講演、情報交換、視察、研究、実証などを実施

プラザ、部会、研究会、地区プラザ等それぞれ計画に従って随時開催。

Ⅴ 会報の発行(所管:総務・広報委員会)

・第1回目の発行:No. 52号(2013年7月)

(通常総会、部会・プラザ活動状況、新会員情報、ものづくり企業元気おこし交流事業講演会案内等)

・第2回目の発行:No. 53号(2014年1月)

(新年大会号:ものづくり企業元気おこし交流事業の異業種交流会における検討結果報告、講演会、新会員情報等)

VI 関連事業等

- 1 『かごしまデザインフェア 2014 デザイン百覧会』の開催協力(負担金拠出)
平成 26年2月 21日(金)~23日(日) かごしま県民交流センター
主催 かごしまデザインフェア実行委員会
(県、産業支援センター、鹿児島デザイン協会、工業倶楽部)
- 2 未来を拓くキャリア教育推進事業(県教育庁: 高校教育課)への協力
 - (1) 中・高校生のインターンシップ事業
 - ① 県内の経済団体が、夏休みを中心に、中学生・高校生を受け入れ。
 - ・(株)九州タブチ: 霧島高校2名(7/31~8/2)
 - ・小城製粉(株): 江内中学校2名(8/20、8/22~8/23)
 - (2) 学校への講師派遣事業(小学校含む)
 - ①伊集院高校: (株)トヨタ車体研究所 市来正人氏(7/18)
 - ②鹿児島市立宇宿小学校: (株)トヨタ車体研究所 永重一博氏(11/27)
 - ③加治木工業高校: (株)トヨタ車体研究所 大脇康博氏(1/17)
- 3 「鹿児島大学工業倶楽部賞」の提供 [鹿大卒業式:平成26年3月25日]
鹿児島県地域産業の発展に貢献する優秀な研究業績を挙げた大学院卒業生に、学長、工業倶楽部会長の連名による表彰状及び記念品の授与(2人)
 - (1) 津末成太和(つすえ まさたか) 大学院農学研究科生物資源化学専攻
「食品廃棄物残さの飼料化に関する研究」
 - (2) 朝國文香(あさくに ふみか) 大学院農学研究科生物環境学専攻
「近赤外分光法を用いた安納イモ糖度の迅速測定技術の確立に関する研究」
- 4 鹿児島大学、鹿児島工業高等専門学校ラボツアーへの参加
 - (1) 鹿児島大学
 - ・日時 平成25年9月13日(金)
 - ・場所 鹿児島大学水産学部
 - ・水産学部の研究シーズ
 - (2) 鹿児島工業高等専門学校
 - ・日時 平成26年2月28日(金)
 - ・場所 鹿児島高専
 - ・機械工学科、電子制御工学科等の研究シーズ
- 5 その他
 - JICA青年研修・インド研修団と貿易部会との意見交換会
 - ・日時 平成25年12月10日(火)
 - ・場所 県産業会館会議室来鹿中のインド中央政府職員(経済行政・産業振興コース)17名と工業倶楽部貿易部会員(8名)とでインドの経済情勢の説明を受けた後、鹿児島の産業の現状等について、意見交換会を実施。

◇ 活動実施状況

平成25年 4月12日	プラザいもづるを開催し、「鹿児島の旅行業界について」と題し、桜観光 鹿児島営業所 井上庄司氏が講演。
22日	第1回正副会長会を開催し、平成25年度通常総会等について協議。
〃	第1回理事会を開催し、24年度決算及び25年度予算、通常総会等について審議し、25年度予算を決議。
〃	84プラザを開催し、「商 空間 住 空間のデザインについて」と題し、(株)マツシタ デザイン 代表取締役 松下清志氏が講演。
〃	さつまプラザ・プラザさくらじま・福祉ビジネス研究部会合同例会を開催し、情報交換会を実施。
5月14日	第57回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」を、(公財)かごしま産業支援センター、(社)九州ニュー ビジネス協議会鹿児島地域委員会と合同で開催。
17日	南薩地区プラザを開催し、平成17年より南さつま市から借り受けていた農地の返還についての報告等。
18日	「ものづくり企業元気おこし交流事業」に係る第1回代表者会議を開催。
20日	川薩地区プラザを開催し、「薩摩川内市次世代エネルギー及び今年度事業の概要について」薩摩川内市新エネルギー対策監 向野陽一郎氏が講演。
27日	平成25年度通常総会を城山観光ホテル「ルビーホール飛天」で開催し、平成24年度の事業報告及び収支決算並びに平成25年度事業計画及び収支予算(案)等について審議を行い承認・可決。また、「過疎集落から世界のマーケットに」と題して、石川県羽咋市教育委員会 文化財室長・歴史民俗資料館長 高野誠鮮氏が記念講演
6月 4日	総務・広報委員会を開催し、会報の発行内容について検討。
7日	八日会を開催し、「地域活性化活動への取り組み」と題し、(株)トヨタ車体研究所 エクゼクティブ・アドバイザー 宮村憲一氏が講演。
12日	さつまプラザ・プラザさくらじま・福祉ビジネス研究部会合同例会を開催し、情報交換会を実施。
14日	プラザいもづるを開催し、「桜島を知る・活かす」と題し、鹿児島大学名誉教授 大木公彦氏が講演。
24日	84プラザを開催し、「鹿児島県島嶼の農業」と題し、鹿児島大学農学部長 富永茂人氏が講演。
7月 5日	工業倶楽部の会報誌No.52を作成し、会員、関係機関等に配布。
17日	さつまプラザ・プラザさくらじま・福祉ビジネス研究部会合同例会を開催し、情報交換会を実施。

7月22日	84プラザを開催し、「世界のお茶事情と株式会社下堂園」と題し、(株)下堂園 代表取締役社長 下堂菌豊氏が講演。
〃	川薩地区プラザを開催し、「薩摩川内市観光シティセールスについて」と題し、薩摩川内市シティセールス課長 古川英利氏が講演。
31日	「ものづくり企業元気おこし交流事業」第2回代表者会議を開催。
〃	ものづくり企業元気おこし交流事業講演会・事例発表会を開催。基調講演①「ナノサイエンスを用いた電子エネルギー制御による原子改質技術 —薄膜技術の繊維素材への応用— 鹿児島大学大学院 理工学研究科 小原幸三教授 基調講演②「バイオビジネスにおける善玉菌と悪玉菌—光合成細菌の農業分野への有効利用— 鹿児島大学水産学部 食品・資源利用学分野 前田広人教授が講演。③「LED照明で、新しい照明文化創りを目指す—野武士集団—交和電気産業(株)開発部統括部長 種田修氏 ④「農高度窒素排水の高速除去」(株)栄電社 バイオ環境グループ マネージャー 川路博文氏が事例発表を行った。
8月 7日	第58回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」を、(公財)かごしま産業支援センター、(社)九州ニュー ビジネス協議会鹿児島地域委員会と合同で開催。
8日	平成25年度九州各県工業団体事務局連絡会議を開催し、各県の事業内容、取り組み等について協議。(株)堀場エステック 阿蘇工場を視察。
23日	84プラザを開催し、「だれがどのように、組織を動かすのか」と題し、鹿児島大学名誉教授 宮廻甫充氏が講演。
〃	ものづくり企業元気おこし交流事業 第1回異業種交流会テーマ3(中野教授)を開催。
27日	ものづくり企業元気おこし交流事業 第1回異業種交流会テーマ2(前田教授)を開催。
29日	ものづくり企業元気おこし交流事業 第1回異業種交流会テーマ1(小原教授)を開催。
9月 5日	第2回正副会長会を開催し、年度後半の事業活動等について協議。
〃	第2回理事会を開催し、食と健康に関するシンポジウム、新年大会、諸規程の整備等について審議。
〃	鹿児島県商工労働水産部との懇談会開催。
11日	八日会を開催し、情報交換会を実施。
12日	ものづくり企業元気おこし交流事業 シーズ発表会(食産業部会9月例会と合同)を開催。
25日	さつまプラザ・プラザさくらじま・福祉ビジネス研究部会合同例会を開催し、情報交換会を実施。
26日	貿易部会を開催し、「ベトナムの今」と題し、弓場貿易(株) 代表取締役 弓場秋信氏が講話。
10月15日	川薩地区プラザを開催し、「薩摩川内市商工観光の展望について」と題し、薩摩川内市商工観光部長 末永隆光氏が講演。

10月17日	ものづくり企業元気おこし交流事業 第2回異業種交流会テーマ2(前田教授)を開催。
18日	ものづくり企業元気おこし交流事業 第2回異業種交流会テーマ3(中野教授)を開催。
22日 ～23日	ものづくり企業元気おこし交流事業で、「他県異業種交流グループ等の視察及び交流」を実施。生産技術開発協同組合(熊本県の産業用機器開発関連企業組合)の2社(株)プレシード、(株)アラオを視察。熊本県庁「くまもとブランド推進課(くまモン担当課)」と交流。
24日	ものづくり企業元気おこし交流事業 第2回異業種交流会テーマ1(小原教授)を開催。
25日	84プラザを開催し、「昔、今、これからの電気と生活」と題し、鹿児島大学理事(研究担当)住吉文夫氏が講演。
26日	南薩地区プラザを開催し、情報交換会を実施。
11月13日	第59回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」を、(公財)かごしま産業支援センター、(社)九州ニュービジネス協議会鹿児島地域委員会と合同で開催。
19日	第三回食と健康に関するシンポジウムを鹿児島大学「稻盛会館」で開催し、◇テーマ1食品の品質管理と健康・①「健康をサポートする油脂の機能性」九州大学名誉教授 菅野道廣氏 ②「食用油の適正な食品利用」日清オイリオグループ(株) 執行役員 青山敏明氏 ③「病気にならない油脂の摂取方法」鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科教授 西尾義彦氏 ◇テーマ2鹿児島島の食を守り、育てる ④「シラスウナギ安定生産に向けた取り組み(安全養殖への展望)」(独)水産総合研究センター増殖研究所志布志庁舎 主任研究員 今泉均氏 ⑤「安全な高機能飼料で守る畜産王国」鹿児島大学農学部准教授 大塚章氏 ⑥「藻場を守り、未利用海藻を資源に」寺田竜太氏が講演。最後に鹿児島大学水産学部教授 木村郁夫氏が総括。
26日	ものづくり企業元気おこし交流事業 テーマ2(前田教授)で、「かのやばら園」視察。
28日	84プラザを開催し、「災害からの教訓 - 8・6水害から20年、安全に慣れきった生活を問い直す」と題し、MBC南日本放送技術局・気象予報士 亀田晃一氏が講演。
12月9日	川薩地区プラザを開催し、「純大の進路と中野教授の研究について」と題し、進路担当課長と鹿児島純心女子大学 中野隆之教授が説明。
10日	JICA 青年研修インド/経済行政(産業振興)と工業倶楽部会員との意見交換会を開催。
11日	総務・広報委員会を開催し、会報の発行内容について検討。
12日	ものづくり企業元気おこし交流事業 第3回異業種交流合同会テーマ2(前田教授)、テーマ3(中野教授)を開催。
17日	84プラザを開催し、「ASEANの盟主インドネシアの変貌」と題し、弓場貿易(株) 代表取締役 弓場秋信氏が講演。
19日	ものづくり企業元気おこし交流事業 第3回異業種交流会テーマ1(小原教授)を開催。

平成26年 1月16日	ものづくり企業元気おこし交流事業 テーマ1(小原教授)で、「アルバック九州(株)工場視察。
21日	「新年大会」を開催し、ものづくり企業元気おこし交流事業の3テーマの異業種交流会における検討結果報告及び記念講演として、「素材力でイノベーション ー技術と市場を結ぶー」と題して、東洋紡株式会社 代表取締役社長 坂元龍三氏が講演。
30日	ものづくり企業元気おこし交流事業 シーズ発表会(84プラザ1月例会)を開催。
〃	84プラザを開催し、演題「奄美黒糖焼酎の高品質化に関する研究」と題して、鹿児島県工業技術センター主任研究員 安藤義則氏が講演。
31日	南薩地区プラザを開催し、情報交換会を実施。
2月 3日	工業倶楽部の会報誌No.53を作成し、会員、関係機関等に配布。
7日	八日会を開催し、情報交換会を実施。
12日	第60回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」を、(公財)かごしま産業支援センター、(社)九州ニュー ビジネス協議会鹿児島地域委員会と合同で開催。
17日	ものづくり企業元気おこし交流事業 シーズ発表会(川薩地区プラザ2月例会)を開催。「生物未利用資源の活用技術 ～水産資源の食品・畜産分野への利用～」と題して、鹿児島純心女子大学 中野隆之教授が発表。
26日	食産業部会を開催し、「変わる食ビジネスとデザインの可能性～少人数世帯・高齢社会・消費増税」と題して、STUDIO K. 代表(食のプランナー) 中島 秋津子氏が講演。
3月 7日	八日会を開催し、情報交換会を実施。
12日	ものづくり企業元気おこし交流事業 シーズ発表会(大隅地区)を開催。
13日	第3回正副会長会を開催し、理事会議題の協議。
〃	84プラザを開催し、「インドネシアの現状とアグロバイオビジネスの可能性」と題して、インドネシア BESPROINDO 代表(味の素(株)OB) 三輪治文氏が講演。
〃	さつまプラザ・プラザさくらじま・福祉ビジネス研究部会合同例会を開催し、「東アフリカビジネス視察報告」と題して、林建設(株) 代表取締役 林隆秀氏が講演。
14日	プラザいもづるを開催し、情報交換会を実施。
25日	平成25年度第62回鹿児島大学卒業式で、朝國文香氏、津末成太和氏へ鹿児島大学工業倶楽部賞として表彰状と記念品を授与。
〃	第3回理事会を開催し、平成26年度事業計画及び収支予算(案)等について審議・決議。

各 種 会 合 等 一 覧 表

月	総会・理事会 正副会長会	委 員 会 等	プラザ・部会・研究会・講演会等	計
4	正副会長会 理事会		84プラザ、プラザいもづる、さつまプラザ・プラザさくらじま・福祉ビジネス研究部会合同	5
5	通常総会		八日会、南薩地区プラザ、川薩地区プラザ	4
6		総務・広報委員会	84プラザ、八日会、プラザいもづる、さつまプラザ・プラザさくらじま・福祉ビジネス研究部会合同	5
7			84プラザ、さつまプラザ・プラザさくらじま・福祉ビジネス研究部会合同、川薩地区プラザ	3
8			84プラザ	1
9	正副会長会 理事会		食産業部会、貿易部会、八日会、さつまプラザ・プラザさくらじま・福祉ビジネス研究部会合同、県商工労働水産部との懇談会	7
10			84プラザ、八日会、南薩地区プラザ、川薩地区プラザ	4
11			第三回食と健康に関するシンポジウム、84プラザ	2
12		総務・広報委員会	貿易部会、84プラザ、プラザいもづる、川薩地区プラザ	5
26 年 1			新年大会、84プラザ、南薩地区プラザ	3
2			食産業部会、八日会、川薩地区プラザ	3
3	正副会長会 理事会		84プラザ、八日会、プラザいもづる、さつまプラザ・プラザさくらじま・福祉ビジネス研究部会合同	6
各 種 会 合 回 数 48 回				

◇ 各委員会活動実績

委員会名	月 日	内 容	場 所
総務・広報 委員会	6月4日	会報No.5 2号の発行について打合せ	工業倶楽部 事務局
	12月11日	会報No.5 3号の発行について打合せ	工業倶楽部 事務局

◇ 各部会活動実績

部会名	月 日	内 容	場 所
福祉ビジ ネス研究 部会 (さつま プラザ・プ ラザさく らじまと 合同)	4月22日	(1) 情報交換	ピナルさくら
	6月12日	(1) 情報交換	ホテル・レクストン鹿 児島「竈ダイ ニング皇」
	7月17日	(1) 情報交換	江戸ツ子寿司 本店
	9月25日	(1) 情報交換	県市町村自治 会館 5階
	3月13日	(1) 演題「東アフリカビジネス視察報告」 講師 林建設(株) 代表取締役 林 隆秀氏 (2) 情報交換	県市町村自治 会館 5階
食産業部 会	9月12日	(ものづくり企業元気おこし交流事業シーズ発表会) (1) オープンキッチンの概要と活用事例について ・(有)マチダ商事 代表取締役社長 板山孝司氏 (2) 工業倶楽部「ものづくり企業元気おこし交流事業」 について ・工業倶楽部ものづくり企業元気おこし交流事業 推進員 岩元宏毅 (3) 生物未利用資源の活用技術—水産資源の食品・畜産 分野等への利用— ・鹿児島純心女子大学看護栄養学部 教授 中野隆之氏 (4) 情報交換その他	(有)マチダ商 事[菓子・パン 材料のお店M (エム)
	2月26日	(1) 会員間の情報交換 (2) 講演「変わる食ビジネスとデザインの可能性 ～少人数世帯・高齢社会・消費増税」について STUDIO K. 代表(食のプランナー) 中島 秋津子氏 (3) 情報交換その他	ソフトプラザ かごしま2F 展示会議室 (2)
貿易部会	9月26日	(1) 講話「ベトナムの今」 弓場貿易(株) 代表取締役 弓場秋信氏 (2) 意見交換 (3) 現況報告 (4) その他	ソフトプラザ かごしま2F 展示会議室 (1)
	12月10日	(1) JICA 青年研修インド/経済行政(産業振興)コース 一行7名と工業倶楽部会員との意見交換会 (2) 情報交換会	県産業会館 3階会議室

◇ プラザ活動実績

プラザ名	月 日	内 容	場 所
八日会	5月8日	(1)近況報告、情報交換	ホテル・レク ストン鹿児島 「竈ダイニン グ皇」
	6月7日	(1)演題「地域活性化活動への取り組み」 講師 (株)トヨタ車体研究所 エクゼクティブ・アドバイザー 宮村憲一氏 (2)近況報告、情報交換	ソフトプラザ かごしま2F 展示会議室 (1)
	9月11日	(1)近況報告、情報交換	ホテル・レク ストン鹿児島 「竈ダイニン グ皇」
	10月9日	(1)近況報告、情報交換	「焼肉なべし ま」NCサン プラザ店
	2月7日	(1)近況報告、情報交換	ホテル・レク ストン鹿児島 「竈ダイニン グ皇」
	3月7日	(1)近況報告、情報交換	ホテル・レク ストン鹿児島 「竈ダイニン グ皇」
	84プラザ	4月22日	(1)演題「商 空間 住 空間のデザインについて」 講師 (株)マツシタデザイン 代表取締役 松下清志氏 (2) 3分間スピーチ (3) 創立30周年記念イベントとして、10（アメリ カ）、20（上海）、25（ソウル）にならって海外 研修の検討を始める。
6月24日		(1) 演題「鹿児島県島嶼の農業」 講師 鹿児島大学農学部長 富永茂人氏 (2) 3分間スピーチ (3) 創立30周年記念イベントについて	ソフトプラザ かごしま2F 展示会議室 (1)
7月22日		(1) 演題「世界のお茶事情と株式会社下堂園」 講師 (株)下堂園 代表取締役社長 下堂菌豊氏 (2) 3分間スピーチ	下堂菌茶舗
8月23日		(1) 演題「だれがどのように、組織を動かすのか」 講師 鹿児島大学名誉教授 宮廻甫充氏 (2) 今語りたいこと（3分間スピーチ）	ソフトプラザ かごしま2F 展示会議室 (1)
10月25日		(1) 演題「昔、今、これからの電気と生活」 講師 鹿児島大学理事（研究担当） 住吉文夫氏 (2) 今語りたいこと（3分間スピーチ）	ソフトプラザ かごしま2F 展示会議室 (1)

84プラザ	11月28日	(1) 演題「災害からの教訓 - 8・6水害から20年、安全に慣れきった生活を問い直す」 講師 MBC 南日本放送技術局 気象予報士 亀田晃一氏 (2) 今語りたいこと (3分間スピーチ)	リーブアンドグリル
	12月17日	(1) 演題「ASEANの盟主インドネシアの変貌」 講師 弓場貿易(株) 代表取締役 弓場秋信氏 (2) 今語りたいこと (3分間スピーチ)	ホテル・レクストン鹿児島4F「カトレア」
	1月30日	(1) 演題「奄美黒糖焼酎の高品質化に関する研究」 講師 鹿児島県工業技術センター主任研究員 安藤 義則氏 (2) 今語りたいこと (3分間スピーチ)	ソフトプラザかごしま2F 展示会議室(1)
	3月13日	(1) 演題「インドネシアの現状とアグロバイオビジネスの可能性」 講師 インドネシア BESPROINDO 代表 (味の素(株)OB) 三輪 治文氏 (2) 今語りたいこと (3分間スピーチ)	ソフトプラザかごしま2F 展示会議室(1)
プラザ いもづる	4月12日	(1) 演題「鹿児島の旅行業界について」 講師 桜観光 鹿児島営業所 井上庄司氏 (2) 情報交換	居酒屋「ひさご」
	6月14日	(1) 演題「桜島を知る・活かす」 講師 鹿児島大学 名誉教授 大木公彦氏 (2) 情報交換	ソフトプラザかごしま2F 展示会議室(2)
	12月20日	(1) 情報交換	「しげぞう」 アエールタワー1F
	2月14日	(1) 演題「花の木農場と大隅を知る・活かす」 講師 (元十島村副村長、現花の木農場監事) 福満 征一郎氏 (2) 情報交換	ソフトプラザかごしま2F 展示会議室(2)
	3月14日	(1) 情報交換	居酒屋「彩こう」
さつま プラザ・プラ ザさくら じま	4月22日	(1) 情報交換	ピナールさくら
	6月12日	(1) 情報交換	ホテル・レクストン鹿児島 「竈ダイニング グ皇」
	7月17日	(1) 情報交換	江戸ツ子寿司 本店
	9月25日	(1) 情報交換	県市町村自治 会館 5階
	3月13日	(1) 演題「東アフリカビジネス視察報告」 講師 林建設(株) 代表取締役 林 隆秀氏 (2) 情報交換	県市町村自治 会館 5階

◇地区プラザ活動実績

プラザ名	月 日	内 容	場 所
南 薩 地 区 プラザ	5月17日	(1)平成17年より南さつま市から借り受けていた農地の返還についての報告 (2)県工業倶楽部の会員活動の活性化について (3)近況報告、情報交換	南 さ つ ま 市 すし松
	10月26日	(1)近況報告、情報交換	南さつま市内
	1月31日	(1)近況報告、情報交換	南さつま市内
川 薩 地 区 プラザ	5月20日	(1) 演題 「薩摩川内市次世代エネルギー及び今年度事業の概要について」 講師 薩摩川内市新エネルギー対策監 向野陽一郎氏	川内ホテル
	7月22日	(1) 演題 「薩摩川内市観光シティセールスについて」 講師 薩摩川内市シティセールス課長 古川英利氏	小城製粉(株) 会議室
	10月15日	(1) 演題 「薩摩川内市商工観光の展望について」 講師 薩摩川内市商工観光部長 末永隆光氏	川内ホテル
	12月9日	(1) 演題 「純大の進路と中野教授の研究について」 講師 鹿児島純心女子大学 中野隆之教授 進路担当課長	川内ホテル
	2月17日	(ものづくり企業元気おこし交流事業シーズ発表会) 「生物未利用資源の活用技術 ～水産資源の食品・畜産分野への利用～」 講師 鹿児島純心女子大学教授 中野隆之氏	川内ホテル

MEMO

収支決算総括表

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
I 事業活動収支部				
1. 事業活動収入				
① 基本財産運用益	5,000	3,236	1,764	
② 受取入会金				
正会員 30,000円×2会員	150,000	0	150,000	
③ 受取会費	11,275,000	10,470,000	805,000	
正 会 員	9,975,000	9,170,000	805,000	
10,000円×16会員	180,000	160,000	20,000	
30,000円×36会員	1,200,000	1,080,000	120,000	
55,000円×14会員	825,000	770,000	55,000	
80,000円×36会員	2,960,000	2,880,000	80,000	
105,000円×15会員	1,785,000	1,575,000	210,000	
130,000円×10会員	1,560,000	1,300,000	260,000	
155,000円×7会員	1,085,000	1,085,000	0	
230,000円×1会員	230,000	230,000	0	
新規会員 3会員 計137正会員	150,000	30,000	120,000	
過年度会費 30,000円×2年	0	60,000	△ 60,000	
賛助会員	1,300,000	1,300,000	0	
100,000円×9会員	900,000	900,000	0	
200,000円×2会員 計11賛助会員	400,000	400,000	0	
④ 受取補助金	200,000	200,000	0	
平成25年度指導団体助成金(鹿児島市)	200,000	200,000	0	
⑤ 受取負担金	1,050,000	800,000	250,000	
総会懇談会負担分	350,000	305,000	45,000	
秋季大会懇談会負担分	350,000	0	350,000	
新年大会懇談会負担分	350,000	495,000	△ 145,000	
⑥ 受取委託料	9,240,000	9,240,000	0	
ものづくり企業元気おこし交流事業(鹿児島県)	9,240,000	9,240,000	0	
⑦ 雑収益	91,624	301,749	△ 210,125	
事業活動収入計 (A)	22,011,624	21,014,985	996,639	

科 目	予算額	決算額	差異	備考
(2)経常費用				
① 事業費	19,537,766	18,976,377	561,389	
給料手当	9,607,000	10,675,989	△ 1,068,989	
賃金	0	17,300	△ 17,300	
福利厚生費	1,604,000	1,523,311	80,689	
退職金掛金	173,000	172,800	200	
表彰費	100,000	76,000	24,000	
委託料	50,000	0	50,000	
旅費交通費	1,576,840	1,117,521	459,319	
通信運搬費	644,080	272,582	371,498	
消耗品費	478,910	667,404	△ 188,494	
印刷製本費	1,272,730	1,273,846	△ 1,116	
会議費	380,000	505,354	△ 125,354	
諸謝金	804,640	573,526	231,114	
賃借料	1,825,826	1,282,932	542,894	
会場借上	790,000	474,267	315,733	
租税公課	58,930	25,896	33,034	
雑費	171,810	317,649	△ 145,839	
② 管理費	5,639,234	4,121,218	1,518,016	
給料手当	2,645,000	1,553,216	1,091,784	
福利厚生費	464,000	413,248	50,752	
退職金掛金	115,000	115,200	△ 200	
旅費交通費	3,160	2,141	1,019	
通信運搬費	131,920	55,786	76,134	
消耗品費	98,090	136,677	△ 38,587	
印刷製本費	97,270	97,349	△ 79	
会議費	1,050,000	785,250	264,750	
諸謝金	135,360	96,474	38,886	
賃借料	536,174	376,719	159,455	
支払負担金	316,000	421,000	△ 105,000	
租税公課	12,070	5,304	6,766	
雑費	35,190	62,854	△ 27,664	
事業活動支出計 (B)	25,177,000	23,097,595	2,079,405	
事業活動収支差額計 (A-B)	△ 3,165,376	△ 2,082,610	△ 1,082,766	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
基本財産取崩収入	1,500,000	1,500,000	0	
投資活動収入計	1,500,000	1,500,000	0	
2 投資活動支出				
基本財産取得支出	150,000	0	150,000	
固定資産取得支出				
什器備品購入支出				
投資活動支出計	150,000	0	150,000	
3 予備費支出				
当期収支差額	△ 1,815,376	△ 582,610	△ 1,232,766	
前期繰越収支差額	1,815,376	1,815,376	0	
次期繰越収支差額	0	1,232,766	△ 1,232,766	

正味財産増減計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	3,236	3,457	△ 221	
② 受取入会金	0	60,000	△ 60,000	
③ 受取会費	10,470,000	11,158,000	△ 688,000	
正 会 員	9,170,000	9,758,000	△ 588,000	
10,000円×19会員	190,000	180,000	10,000	
30,000円×36会員	1,080,000	1,260,000	△ 180,000	
55,000円×14会員	770,000	770,000	0	
80,000円×36会員	2,880,000	2,960,000	△ 80,000	
105,000円×15会員	1,575,000	1,680,000	△ 105,000	
130,000円×10会員	1,300,000	1,430,000	△ 130,000	
155,000円×7会員	1,085,000	1,240,000	△ 155,000	
230,000円×1会員 計 138会員	230,000	230,000	0	
過年度会費 30,000円×2年	60,000	8,000	52,000	
賛助会員	1,300,000	1,400,000	△ 100,000	
100,000円×9会員	900,000	1,000,000	△ 100,000	
200,000円×2会員 計 11賛助会員	400,000	400,000	0	
④ 受取補助金	200,000	1,137,006	△ 937,006	
平成25年度指導団体助成金(鹿児島市)	200,000	200,000	0	
農商工等連携支援事業(九州経済産業局)	0	937,006	△ 937,006	
⑤ 受取負担金	800,000	1,286,000	△ 486,000	
総会懇談会負担分	305,000	382,000	△ 77,000	
新年大会懇談会負担分	495,000	510,000	△ 15,000	
農商工連携推進大会懇談会負担分	0	280,000	△ 280,000	
食と健康に関するシンポジウム懇談会負担分	0	114,000	△ 114,000	
⑥ 受取委託料	9,240,000	7,585,574	1,654,426	
ものづくり企業元気おこし交流事業(鹿児島県)	9,240,000	7,585,574	1,654,426	
⑦ 雑収益	301,749	224,933	76,816	
経常収益計	21,014,985	21,454,970	△ 439,985	

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
(2) 経常費用				
① 事業費	18,976,377	18,676,494	299,883	
給料手当	10,675,989	10,411,829	264,160	
賃 金	17,300	0	17,300	
福利厚生費	1,523,311	1,486,626	36,685	
退職金掛金	172,800	173,000	△ 200	
表彰費	76,000	76,000	0	
旅費交通費	1,117,521	1,200,840	△ 83,319	
通信運搬費	272,582	432,312	△ 159,730	
消耗品費	667,404	265,649	401,755	
印刷製本費	1,273,846	1,474,100	△ 200,254	
会議費	505,354	383,183	122,171	
食糧費	0	11,869	△ 11,869	
賃借料	1,282,932	1,123,970	158,962	
諸謝金	573,526	452,225	121,301	
支払負担金	0	0	0	
会場借上	474,267	345,975	128,292	
借損料	0	248,700	△ 248,700	
広報費	0	378,525	△ 378,525	
租税公課	25,896	67,562	△ 41,666	
雑 費	317,649	144,129	173,520	
② 管理費	4,121,218	5,215,665	△ 1,094,447	
給料手当	1,553,216	2,612,157	△ 1,058,941	
福利厚生費	413,248	424,314	△ 11,066	
退職金掛金	115,200	115,000	200	
旅費交通費	2,141	2,411	△ 270	
通信運搬費	55,786	82,665	△ 26,879	
消耗品費	136,677	54,410	82,267	
印刷製本費	97,349	112,660	△ 15,311	
会議費	785,250	1,050,000	△ 264,750	
食糧費	0	2,431	△ 2,431	
賃借料	376,719	324,683	52,036	
諸謝金	96,474	76,075	20,399	
支払負担金	421,000	315,500	105,500	
租税公課	5,304	13,838	△ 8,534	
雑 費	62,854	29,521	33,333	
③ 什器備品減価償却費	76,833	88,373	△ 11,540	
経常費用計	23,174,428	23,980,532	△ 806,104	
当期経常増減額	△ 2,159,443	△ 2,525,562	366,119	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 2,159,443	△ 2,525,562	366,119	
一般正味財産期首残高	15,259,760	17,785,322	△ 2,525,562	
一般正味財産期末残高	13,100,317	15,259,760	△ 2,159,443	
正味財産期末残高	13,100,317	15,259,760	△ 2,159,443	

正味財産増減計算内訳書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	合 計	備 考
I 一般正味財産増減					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益	2,550	0	686	3,236	
② 受取入会金	0	0	0	0	
③ 受取会費	5,235,000	0	5,235,000	10,470,000	
正 会 員	4,585,000		4,585,000	9,170,000	
10,000円×19会員	95,000		95,000	190,000	
30,000円×36会員	540,000		540,000	1,080,000	
55,000円×14会員	385,000		385,000	770,000	
80,000円×36会員	1,440,000		1,440,000	2,880,000	
105,000円×15会員	787,500		787,500	1,575,000	
130,000円×10会員	650,000		650,000	1,300,000	
155,000円×7会員	542,500		542,500	1,085,000	
230,000円×1会員 計 138会員	115,000		115,000	230,000	
過年度会費 30,000円×2年	30,000		30,000	60,000	
賛助会員	650,000		650,000	1,300,000	
100,000円×9会員	450,000		450,000	900,000	
200,000円×2会員 計 11賛助会員	200,000		200,000	400,000	
④ 受取補助金	200,000	0	0	200,000	
平成25年度指導団体助成金(鹿児島市)	200,000	0	0	200,000	
⑤ 受取負担金	0	0	800,000	800,000	
総会懇談会負担分	0	0	305,000	305,000	
新年大会懇談会負担分	0	0	495,000	495,000	
⑥ 受取委託料	9,240,000	0	0	9,240,000	
ものづくり企業元気おこし交流事業(鹿児島県)	9,240,000	0	0	9,240,000	
⑦ 雑収益	301,749	0	0	301,749	
経常収益計	14,979,299	0	6,035,686	21,014,985	

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	合 計	備 考
(2) 経常費用					
① 事業費	19,040,148	0	0	19,040,148	
給料手当	10,675,989	0	0	10,675,989	
賃 金	17,300	0	0	17,300	
福利厚生費	1,523,311	0	0	1,523,311	
退職金掛金	172,800	0	0	172,800	
表彰費	76,000	0	0	76,000	鹿大工業倶楽部賞
旅費交通費	1,117,521	0	0	1,117,521	講師旅費等
通信運搬費	272,582	0	0	272,582	TEL・FAX料他
消耗品費	667,404	0	0	667,404	コピー料他
印刷製本費	1,273,846	0	0	1,273,846	会報誌他
会議費	505,354	0	0	505,354	
賃借料	1,282,932	0	0	1,282,932	会議室料
諸謝金	573,526	0	0	573,526	講師謝金等
会場借上	474,267	0	0	474,267	講演会場
租税公課	25,896	0	0	25,896	
雑 費	317,649	0	0	317,649	
什器備品減価償却費	63,771	0	0	63,771	
② 管理費	0	0	4,134,280	4,134,280	
給料手当	0	0	1,553,216	1,553,216	
福利厚生費	0	0	413,248	413,248	
退職金掛金	0	0	115,200	115,200	
旅費交通費	0	0	2,141	2,141	
通信運搬費	0	0	55,786	55,786	
消耗品費	0	0	136,677	136,677	
印刷製本費	0	0	97,349	97,349	
会議費	0	0	785,250	785,250	
賃借料	0	0	376,719	376,719	
諸謝金	0	0	96,474	96,474	
支払負担金	0	0	421,000	421,000	
租税公課	0	0	5,304	5,304	
雑 費	0	0	62,854	62,854	
什器備品減価償却費	0	0	13,062	13,062	
経常費用計	19,040,148	0	4,134,280	23,174,428	
当期経常増減額	△ 4,060,849	0	1,901,406	△ 2,159,443	
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 4,060,849	0	1,901,406	△ 2,159,443	
一般正味財産期首残高	15,259,760	0	0	15,259,760	
一般正味財産期末残高	11,198,911	0	1,901,406	13,100,317	
正味財産期末残高	11,198,911	0	1,901,406	13,100,317	

貸借対照表総括表

平成26年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 資産の部				
1. 流動資産				
普通預金	417,972	1,115,653	△ 697,681	
未収会費	10,000	0	10,000	
未収金	1,140,000	1,222,580	△ 82,580	
流動資産合計	1,567,972	2,338,233	△ 770,261	
2. 固定資産				
(1)基本財産				
定期預金	11,760,000	13,260,000	△ 1,500,000	
基本財産合計	11,760,000	13,260,000	△ 1,500,000	
(2)その他の固定資産				
什器備品	34,751	111,584	△ 76,833	
電話加入権	72,800	72,800	0	
その他の固定資産合計	107,551	184,384	△ 76,833	
固定資産合計	11,867,551	13,444,384	△ 1,576,833	
資産合計	13,435,523	15,782,617	△ 2,347,094	
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	144,062	158,801	△ 14,739	
預り金	128,435	246,608	△ 118,173	
仮受金	62,709	117,448	△ 54,739	
流動負債合計	335,206	522,857	△ 187,651	
負債合計	335,206	522,857	△ 187,651	
III 正味財産の部				
一般正味財産	13,100,317	15,259,760	△ 2,159,443	
(うち基本財産への充当額)	(11,760,000)	(13,260,000)	(△1,500,000)	
正味財産合計	13,100,317	15,259,760	△ 2,159,443	
負債及び正味財産合計	13,435,523	15,782,617	△ 2,347,094	

財 産 目 録

(平成26年3月31日現在) (単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的	金額
(流動資産)	預金	<普通預金> 鹿児島銀行本店 南日本銀行本店	運営資金として	412,729
			運営資金として	5,243
			<預金計>	417,972
	未収会費 未収金	鹿児島県	正会員 1件 ものづくり企業元気おこし交流事業	10,000 1,140,000
<未収金計>				1,150,000
流動資産合計				1,567,972
(固定資産)	基本財産 預金	<定期預金> 鹿児島銀行本店 南日本銀行本店 鹿児島相互信用金庫本店		4,560,000
				4,200,000
				3,000,000
	<預金計>	11,760,000		
その他の 固定資産	什器備品	パソコン(4台)	公益目的及び管理目的としての共有財産	34,751
	電話加入権	099-225-8012 外4回線	公益目的及び管理目的としての共有財産	72,800
<その他の固定資産計>				107,551
固定資産合計				11,867,551
資産合計				13,435,523
(流動負債)	未払金	(株)久永 日本郵便(株) 社会保険料事務所負担分	コピーカウント料	61,962
			ゆうメール料金	15,010
			3月分健康保険料、厚生年金等	67,090
	<未払金計>	144,062		
預り金	社会保険料職員負担分	3月分健康保険料、厚生年金等	128,435	
仮受金	社会保険料事務所負担分	ものづくり企業元気おこし交流事業 事業職員分	62,709	
流動負債合計				335,206
固定負債合計				0
負債合計				335,206
正味財産				13,100,317

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当事項なし

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、定額法を採用している。

(2) リース取引の処理方法

通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	13,260,000	0	1,500,000	11,760,000
小 計	13,260,000	0	1,500,000	11,760,000
特定資産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
合 計	13,260,000	0	1,500,000	11,760,000

4. 基本財産及び特定資産の財源の内訳

基本財産及び特定資産の財源の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産	11,760,000	()	(11,760,000)	—
小 計	11,760,000	()	(11,760,000)	—
特定資産	0	()	()	
小 計	0	()	()	
合 計	11,760,000	()	(11,760,000)	—

5. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

什器備品科目の物件	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
パソコン (2台)	341,415	306,666	34,749
パソコン (2台)	310,380	310,378	2
小 計	651,795	617,044	34,751
建物附属設備科目の物件	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
	0	0	0
小 計	0	0	0
合 計	651,795	617,044	34,751

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の 名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照 表上の記 載区分
補助金 平成25年度指導団体助成金	鹿児島市	0	200,000	200,000	0	—
合 計		0	200,000	200,000	0	

7. 重要な後発事象

該当事項なし

8. その他

該当事項なし

付属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細



(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産		13,260,000	0	1,500,000	11,760,000
	基本財産計	13,260,000	0	1,500,000	11,760,000
特定資産					
	特定資産計	0	0	0	0

監査報告書

平成26年4月21日

公益社団法人鹿児島県工業倶楽部
会長 岩元正孝殿

監事 餅田淳一 
監事 高橋美典 

私たち監事は、当倶楽部の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの平成25年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事会に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受けるとともに、重要な書類を閲覧し、当倶楽部の事務所において業務及び財産の状況について調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当倶楽部の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、当倶楽部の財産及び損益の状況を全て重要な点において適正に表示していると認めます。

議案第2号 理事・監事改選について

※ 関係条文

公益社団法人鹿児島県工業倶楽部定款(抜粋)

(役員の種類及び選任)

定款第11条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 20人以上30人以内
- (2) 監事 2人

2 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。

(略)

5 会長、副会長及び専務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(役員任期)

定款第13条 理事及び監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する通常総会の終結の時までとする。(略)

2 理事及び監事は、再任されることができる。

MEMO

報告事項 1 平成26年度事業計画及び収支予算について

1 基本方針

- (1) 景気は、緩やかな回復基調が続いているが、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、このところ弱い動きもみられる。

先行きについては、当面、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により弱さが残るものの、次第にその影響が薄れ、各種政策の効果が発現するなかで、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外景気の下振れが、引き続き、我が国の景気を下押しするリスクとなっている。

こうした中、国においては、経済の好循環の実現に向け、「好循環実現のための経済対策」を含めた経済政策パッケージを着実に実行するとともに、平成26年度予算の早期実施に努め、デフレ脱却・経済再生と財政健全化の両立に向けて取り組むこととしている。

一方、最近の県内景況は、雇用情勢が足踏み、生産活動、観光関連、投資関連が横ばいとなっている。また、個人消費が消費増税前の駆け込みの反動により弱含むなど、全体として弱い動きがみられる。今後、アベノミクスによって生じた景気回復の動きが確実なものとなり、地域経済の活性化と雇用の安定・確保が図られることが重要である。

これまで当倶楽部は、会員企業による異業種交流を深めるとともに、産学官連携を多様化しながら、技術の高度化、新技術・新製品の開発による新規事業分野への進出等を促進し、県内工業の健全な発展に寄与する活動を展開してきたところであり、公益社団法人に移行したことに伴い、今後はさらに、会員企業はもとより、広く県内工業の健全な発展を図るための活動が求められてくる。

平成25年度は、県の委託事業である「ものづくり企業元気おこし交流事業」に取り組み、工業倶楽部の会員のみならず、非会員の企業も多数参加した各テーマごとの検討会を通じて、大学の先生方との交流や異業種間の交流が深まり、新たな企画に結びつく活動が起り始めている。

このようなことから、平成26年度の当倶楽部の運営は、国内外の経済動向を踏まえ、会員企業の事業活動の拡充を支援していくため、会員相互の一層の交流促進を図るとともに、公益社団法人として、会員外の企業・団体等も含めて、大学や国、県、県工業技術センター、(公財)かごしま産業支援センター等との連携を一段と強化していくこととし、当倶楽部の活動が県内工業の発展や地域の振興に寄与するよう積極的に各種施策を展開していく。

2 主要事業

(活性化事業)

- ① 公益社団法人化に伴うイメージアップのための提案 **【特命委員会】**
- ② 工業倶楽部活性化のための提案 //
- ③ 新規会員の加入促進 **【総務・広報委員会】**

(異業種交流事業)

- ① 時代を先取りするものづくり異業種交流事業の実施 **【事業委員会】**
 - ・ 企業ニーズと大学等のシーズを活用した自社製品の開発や販路拡大等を促進するため異業種企業の連携による取り組みで経営基盤の確立を促進する。
 - ・ 医療、農林水産、環境、エネルギー、観光等の分野にまたがる異業種交流を促進し、事業拡大や新製品開発への取り組みを促進する。
 - ・ 同事業を通しての新規会員の獲得 **【総務・広報委員会】**
- ② ものづくりコーディネーター育成事業の実施（県委託事業：新規） **【事業委員会】**
- ③ 県外の工業団体等との交流促進 **【渉外委員会】**
 - ・ 九州内の工業団体等との交流による情報、意見の交換等の促進を図る
 - ・ 県外産業界等との交流による会員の事業充実、資質向上を促進する
 - ・ 鹿児島大学、工業技術センター、産業支援センター、二水会等との交流
- ④ 新しい時代に対応した工業倶楽部のプラットフォーム化の研究 **【事業委員会】**
- ⑤ プラザ、部会、研究会、地区プラザの活性化推進 //

(産・学・官連携事業)

- ① 鹿大等との交流連携の推進
 - ・ 企業のニーズと大学等のシーズのマッチングによる具体的結果の出る取り組みの推進(再掲) **【渉外委員会】**
 - ・ 「食と健康に関するシンポジウム」の開催 **【特命委員会】**
- ② 若者就職活動に関するサポート活動の強化 **【特命委員会】**
 - ・ 各種インターンシップの援助等

(広報・デザイン開発事業)

- ① 工業倶楽部のイメージアップの促進 **【総務・広報委員会】**
 - ・ 当倶楽部のイメージアップを図るため、県、県議会、マスコミ等との交流の推進
 - ・ 会員企業の活動や実績等の情報発信に努め、ホームページの利活用による当倶楽部の知名度アップを図る。

● **平成26年度鹿児島県委託事業（新規）**
「企業連携型地域課題解決支援事業（ものづくりコーディネーター育成事業）」

1 事業の趣旨

- ① 本県中小製造業は、取引の多くを大手進出企業に依存しており、県内企業間での連携や地域発の新技术・新製品が生まれにくい現状にある。
- ② 本事業は、国の緊急雇用創出事業臨時特例基金事業（地域人づくり事業）を活用して、県内の企業が持つ独自の技術を融合させて地域内の課題を解決したり、企業の新技术・新製品開発を後押しする役割を担う「ものづくりコーディネーター」の育成を目的とした県の委託事業である。

2 事業内容

本事業の実施にあたり、失業者の中から新規に2名雇用し、当該新規雇用者が「ものづくりコーディネーター」として活動できるよう、OJT、OFF-JTの双方の研修を実施する。

- ① 各種講習会及びマッチングセミナー等への参加
 - ・ 県内外で行われる異業種間でのマッチングセミナー等への参加
 - ・ 新成長分野等における課題・ニーズ等の発掘や参入可能性等の検討
- ② 県内外の企業訪問
 - ・ 県内の新成長分野関連産業等現況調査及び成功事例等の聞き取り調査
- ③ 地域課題の収集
 - ・ ①及び②の現地視察等を通じての地域課題の収集と課題の整理・分析
- ④ コンソーシアムの構築・運営
 - ・ 県内企業等によるコンソーシアムを構築し、当該課題の解決及び新製品・新技术の開発促進

3 事業費 990万円

4 人員体制

- (1) ものづくりコーディネーター新規雇用(2名)
- (2) 管理者
事業の進行管理及び業務の指導・統括を行うため管理者を設置し、工業倶楽部事務局長を充てる。

MEMO

一 般 会 計 事 業 計 画

事 業 名	事 業 内 容	事業費(円)
1 総務企画事業		<u>1,700,000</u>
(1) 理事会及び正副会長会	総会の議決した事項その他組織・運営・事業等、業務の執行に関することを決定する。	110,000
(2) 委員会(4委員会)	理事会で決定した業務等を所管の委員会が推進する。	20,000
(3) 部会及びプラザの代表者会議	部会及びプラザの活動を推進するための、事業・予算及び活動計画等の確認	30,000
(4) 通常総会	平成26年度通常総会の開催	700,000
(5) 異業種交流大会の開催 (新年大会)	会員の資質向上を図るとともに、会員間の交流を深めることにより、新規事業分野 への進出等を促進する。 (県の委託事業として。)	720,000
(6) 異業種交流大会の開催 (秋季大会)		0
(7) 新規会員の加入促進運動	魅力ある工業倶楽部を実現するため、委員会・部会・研究会・プラザ等の充実を通して組織強化を図る。会員増強に力を入れ、各会員が 1名の会員加入をするよう積極的に行動を起こす運動を展開する。	100,000
(8) 国際交流への負担金	県日中友好協会、鹿児島日韓親善協会等への参加協力ほか	20,000
2 異業種交流事業		<u>555,000</u>
(1) 部会活動推進事業	福祉ビジネス研究、情報ネットワーク、食産業部会、貿易部会等の活動を推進する。	90,000
(2) プラザ活動推進事業	八日会、84プラザ、さつまプラザ、プラザいもづる、プラザさくらじまでの交流、活動を推進する。	150,000
(3) 研究会活動推進事業	特定テーマ、課題解決のための研究会の活動推進	120,000
(4) 地区プラザの充実及び円滑な運営の推進	農商工等連携支援事業の推進等を通して、地区プラザの充実を促進し、地域産業の発展に貢献する。	90,000
(5) 出前交流事業	当工業倶楽部役員を中心に地域を訪問し、地域の会員企業・団体との交流を通して、地区プラザ等の活性化、会員の確保、地域の振興に資する。(県の委託事業として)	0
(6) 県外工業団体等との交流	県外の企業や産業界等との交流を推進する。	105,000

3 産・学・官連携事業		<u>876,000</u>
(1) 鹿大等との連携	「学」との交流、連携の推進	730,000
	①鹿大との交流・連携の推進	100,000
	②地域貢献に黙する活動(シンポジウム)	500,000
	③鹿児島大学工業倶楽部賞の授与	100,000
	④高専、研究、教育機関等との交流の推進	30,000
(2) 県・公設試・各種団体等との連携	「官」との交流、連携の推進	126,000
	①鹿児島県(産業立地課、工技センター、産業支援センター)との連携	106,000
	②その他関連する団体等との交流	20,000
(3) インターンシップ、講師派遣等の推進	学生のインターンシップ、県教委キャリア教育推進事業等への協力	20,000
4 広報・デザイン開発活動事業		<u>388,000</u>
(1) 情報の収集及び会報・KICニュースの発行	異業種交流、産学官連携及び講演会、セミナー等の情報の提供、会員の情報発信 配付先: 会員、県及び関係機関、その他関係団体等	220,000
(2) 工業倶楽部案内	ホームページ充実等による工業倶楽部及び会員の紹介、新商品や事業展開情報等の発信	58,000
(3) マスコミ等への広報	マスコミ、県議会等との意見交換を通じた工業倶楽部のイメージアップ及び会員の資質向上	10,000
(4) デザイン開発力強化等の推進	地域産業におけるデザインマインドの高揚とデザイン開発力の強化を図るための協力等の実施	100,000

(予算)

収支予算総括表

平成 26年 4月 1日 から平成 27年 3月 31日 まで

科 目	当初予算額 (A) (一般会計)	補正額(B) (ものづくりコーディネーター育成事業)	補正後予算額 (A)+(B)
I 事業活動収支の部			
1.事業活動収入			
①基本財産運用収入			
基本財産運用収入	3,500	0	3,500
②入会金収入			
入会金収入 新規正会員 30,000円×1会員	30,000	0	30,000
③会費収入			
正会員収入 計136会員	9,145,000	0	9,145,000
10,000円×18会員	180,000		180,000
30,000円×35会員	1,050,000		1,050,000
55,000円×14会員	770,000		770,000
80,000円×35会員	2,800,000		2,800,000
105,000円×15会員	1,575,000		1,575,000
130,000円×10会員	1,300,000		1,300,000
155,000円×7会員	1,085,000		1,085,000
230,000円×1会員	230,000		230,000
新規 155,000円×1会員	155,000		155,000
賛助会員会費収入 計12会員	1,400,000	0	1,400,000
100,000円×9会員	1,000,000		1,000,000
200,000円×2会員	400,000		400,000
新規 100,000円×1会員			
④補助金等収入	200,000	0	200,000
補助金収入			
平成26年度指導団体助成金(鹿児島市)	200,000		200,000
⑤負担金収入			
負担金収入	700,000	0	700,000
総会懇談会負担金	350,000		350,000
新年大会懇談会負担金	350,000		350,000
⑥委託料収入			
委託料	0	9,900,000	9,900,000
⑦雑収入			
受取利息等収入	83,734	0	83,734
事業活動収入計 (A)	11,562,234	9,900,000	21,462,234

科 目	当初予算額 (A) (一般会計)	補正額(B) (ものづくりコーディネーター育成事業)	補正後予算額 (A)+(B)
2.事業活動支出			
①事業費支出	10,501,600	9,670,300	20,171,900
給料手当	5,000,040	6,600,000	11,600,040
福利厚生費	760,181	385,500	1,145,681
退職金掛金	172,800	0	172,800
表彰費	100,000	0	100,000
旅費交通費	469,060	2,195,600	2,664,660
通信運搬費	204,180	83,000	287,180
消耗品費	375,575	166,000	541,575
印刷製本費	603,850	0	603,850
会議費	600,000	0	600,000
賃借料	1,331,384	154,600	1,485,984
会場借上	200,000	0	200,000
諸謝金	590,640	85,600	676,240
雑費	93,890	0	93,890
②管理費支出	3,463,400	229,700	3,693,100
給料手当	1,100,010	0	1,100,010
福利厚生費	506,788	114,500	621,288
退職金掛金	115,200	0	115,200
旅費交通費	940	4,400	5,340
通信運搬費	41,820	17,000	58,820
消耗品費	76,925	34,000	110,925
印刷製本費	46,150	0	46,150
会議費	700,000	0	700,000
賃借料	390,976	45,400	436,376
諸謝金	99,360	14,400	113,760
支払負担金	366,000	0	366,000
雑費	19,231	0	19,231
事業活動支出計 (B)	13,965,000	9,900,000	23,865,000
事業活動収支差額(A-B)	△ 2,402,766	0	△ 2,402,766
II 投資活動収支の部			
1.投資活動収入			
基本財産取崩収入	1,200,000		1,200,000
投資活動収入計	1,200,000	0	1,200,000
2.投資活動支出			
基本財産取得支出	30,000		30,000
固定資産取得支出			
什器備品購入支出			
投資活動支出計	30,000	0	30,000
III 予備費支出			
当期収支差額	△ 1,232,766	0	△ 1,232,766
前期繰越収支差額	1,232,766	0	1,232,766
次期繰越収支差額	0	0	0

(予算)

正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度予算	前年度予算	増 減	備 考
I 一般正味財産増減				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	3,500	5,000	△ 1,500	
② 受取入会金	30,000	150,000	△ 120,000	
③ 受取会費	10,545,000	11,275,000	△ 730,000	
正 会 員 計136会員	9,145,000	9,975,000	△ 830,000	
10,000円×18会員	180,000	180,000	0	
30,000円×35会員	1,050,000	1,200,000	△ 150,000	
55,000円×14会員	770,000	825,000	△ 55,000	
80,000円×35会員	2,800,000	2,960,000	△ 160,000	
105,000円×15会員	1,575,000	1,785,000	△ 210,000	
130,000円×10会員	1,300,000	1,560,000	△ 260,000	
155,000円×7会員	1,085,000	1,085,000	0	
230,000円×1会員	230,000	230,000	0	
新規 155,000円×1会員	155,000	150,000	5,000	
賛助会員 計11賛助会員	1,400,000	1,300,000	100,000	
100,000円×9会員	900,000	900,000	0	
200,000円×2会員 計 11賛助会員	400,000	400,000	0	
新規 100,000円×1会員	100,000	0	100,000	
④ 受取補助金	200,000	200,000	0	
平成25年度指導団体助成金(鹿児島市)	200,000	200,000	0	
⑤ 受取負担金	700,000	1,050,000	△ 350,000	
総会懇談会負担分	350,000	350,000	0	
秋季大会懇談会負担分	0	350,000	△ 350,000	
新年大会懇談会負担分	350,000	350,000	0	
⑥ 受取委託料	9,900,000	9,240,000	660,000	
ものづくり企業元気おこし交流事業(鹿児島県)	0	9,240,000	△ 9,240,000	
ものづくりコーディネーター事業(鹿児島県)	9,900,000	0	9,900,000	
⑦ 雑収益	83,734	91,624	△ 7,890	
経常収益計	21,462,234	22,011,624	△ 549,390	

科 目	当年度予算	前年度予算	増 減	備 考
(2) 経常費用				
① 事業費	20,171,900	19,537,766	634,134	
給料手当	11,600,040	9,607,000	1,993,040	
福利厚生費	1,145,681	1,604,000	△ 458,319	
退職金掛金	172,800	173,000	△ 200	
表彰費	100,000	100,000	0	
委託料	0	50,000	△ 50,000	
旅費交通費	2,664,660	1,576,840	1,087,820	
通信運搬費	287,180	644,080	△ 356,900	
消耗品費	541,575	478,910	62,665	
印刷製本費	603,850	1,272,730	△ 668,880	
会議費	600,000	380,000	220,000	
賃借料	1,485,984	1,825,826	△ 339,842	
諸謝金	676,240	804,640	△ 128,400	
会場借上	200,000	790,000	△ 590,000	
租税公課	0	58,930	△ 58,930	
雑費	93,890	171,810	△ 77,920	
② 管理費	3,693,100	5,639,234	△ 1,946,134	
給料手当	1,100,010	2,645,000	△ 1,544,990	
福利厚生費	621,288	464,000	157,288	
退職金掛金	115,200	115,000	200	
旅費交通費	5,340	3,160	2,180	
通信運搬費	58,820	131,920	△ 73,100	
消耗品費	110,925	98,090	12,835	
印刷製本費	46,150	97,270	△ 51,120	
会議費	700,000	1,050,000	△ 350,000	
賃借料	436,376	536,174	△ 99,798	
諸謝金	113,760	135,360	△ 21,600	
支払負担金	366,000	316,000	50,000	
租税公課	0	12,070	△ 12,070	
雑費	19,231	35,190	△ 15,959	
③ 什器備品減価償却費	34,747	76,819	△ 42,072	
経常費用計	23,899,747	25,253,819	△ 1,354,072	
当期経常増減額	△ 2,437,513	△ 3,242,195	804,682	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 2,437,513	△ 3,242,195	804,682	
一般正味財産期首残高	13,100,317	15,259,760	△ 2,159,443	
一般正味財産期末残高	10,662,804	12,017,565	△ 1,354,761	
正味財産期末残高	10,662,804	12,017,565	△ 1,354,761	

(予算) 正味財産増減計算内訳書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	合 計	備 考
I 一般正味財産増減					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益	2,758	0	742	3,500	
② 受取入会金	30,000	0	0	30,000	
③ 受取会費	5,272,500	0	5,272,500	10,545,000	
正会員 計136会員	4,572,500		4,572,500	9,145,000	
10,000円×18会員	90,000		90,000	180,000	
30,000円×35会員	525,000		525,000	1,050,000	
55,000円×14会員	385,000		385,000	770,000	
80,000円×35会員	1,400,000		1,400,000	2,800,000	
105,000円×15会員	787,500		787,500	1,575,000	
130,000円×10会員	650,000		650,000	1,300,000	
155,000円×7会員	542,500		542,500	1,085,000	
230,000円×1会員	115,000		115,000	230,000	
新規 155,000円×1会員	77,500		77,500	155,000	
賛助会員 計11賛助会員	700,000		700,000	1,400,000	
100,000円×9会員	450,000		450,000	900,000	
200,000円×2会員 計 11賛助会員	200,000		200,000	400,000	
新規 100,000円×1会員	50,000		50,000	100,000	
④ 受取補助金	200,000	0	0	200,000	
平成25年度指導団体助成金(鹿児島市)	200,000	0	0	200,000	
⑤ 受取負担金	0	0	700,000	700,000	
総会懇談会負担分	0	0	350,000	350,000	
新年大会懇談会負担分	0	0	350,000	350,000	
⑥ 受取委託料	9,900,000	0	0	9,900,000	
ものづくりコーディネーター育成事業(鹿児島県)	9,900,000	0	0	9,900,000	
⑦ 雑収益	83,734	0	0	83,734	
経常収益計	15,488,992	0	5,973,242	21,462,234	

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	合 計	備 考
(2) 経常費用					
① 事業費	20,200,740	0	0	20,200,740	
給料手当	11,600,040	0	0	11,600,040	
福利厚生費	1,145,681	0	0	1,145,681	
退職金掛金	172,800	0	0	172,800	
表彰費	100,000	0	0	100,000	鹿大工業倶楽部賞
旅費交通費	2,664,660	0	0	2,664,660	講師旅費等
通信運搬費	287,180	0	0	287,180	TEL・FAX料他
消耗品費	541,575	0	0	541,575	コピー料他
印刷製本費	603,850	0	0	603,850	会報誌他
会議費	600,000	0	0	600,000	
賃借料	1,485,984	0	0	1,485,984	会議室料
諸謝金	676,240	0	0	676,240	講師謝金等
会場借上	200,000	0	0	200,000	講演会場
雑費	93,890	0	0	93,890	
什器備品減価償却費	28,840	0	0	28,840	
② 管理費	0	0	3,699,007	3,699,007	
給料手当	0	0	1,100,010	1,100,010	
福利厚生費	0	0	621,288	621,288	
退職金掛金	0	0	115,200	115,200	
旅費交通費	0	0	5,340	5,340	
通信運搬費	0	0	58,820	58,820	
消耗品費	0	0	110,925	110,925	
印刷製本費	0	0	46,150	46,150	
会議費	0	0	700,000	700,000	
賃借料	0	0	436,376	436,376	
諸謝金	0	0	113,760	113,760	
支払負担金	0	0	366,000	366,000	
雑費	0	0	19,231	19,231	
什器備品減価償却費	0	0	5,907	5,907	
経常費用計	20,200,740	0	3,699,007	23,899,747	
当期経常増減額	△ 4,711,748	0	2,274,235	△ 2,437,513	
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 4,711,748	0	2,274,235	△ 2,437,513	
一般正味財産期首残高	13,100,317	0	0	13,100,317	
一般正味財産期末残高	8,388,569	0	2,274,235	10,662,804	
正味財産期末残高	8,388,569	0	2,274,235	10,662,804	

報告事項2 基本財産からの繰入れについて

平成26年3月25日に開催された第3回理事会において、定款第37条但し書きの規定に基づき、基本財産の一部を下記のとおり処分することについて、議決されたので報告します。

記

1. 繰入れの理由 県の委託事業分の一般会計からの建て替えにより年度末の資金収支が不足するおそれがあること及び会費収入等の減少に伴い、公益法人の活動を確保するための財源に不足が生じると認められること。
2. 基本財産額 1 1 7 6 万円（平成26年3月31日現在）
3. 処分予定額 1 2 0 万円
4. 処分の方法 26年度予算への繰り入れ

なお、現在の基本財産は、定款第36条第2項第2号に基づくものである。

また、これについては使途は定められていません。

* 関係条文

公益社団法人 鹿児島県工業倶楽部定款(抜粋)

(資産の種別)

第36条 この法人の資産は、基本財産及び運用財産の2種とする。

2 基本財産は、次に掲げるものをもって構成する。

(1) 基本財産とすることを指定して寄付された財産

(2) この法人の目的である事業を行うために必要な業務または活動の用に供することとして理事会で定めた財産

3 運用財産は、基本財産以外の財産とする。

(基本財産の処分の制限)

第37条 基本財産は、これを処分し、又は担保に供することができない。ただし、やむをえない理由があるときは、理事会の議決を得て、その一部を処分し、又は担保に供することができる。この場合は、直近の総会で報告するものとする。

MEMO

「講演会」

演 題 「鹿児島県の製造業成長のための対策

—営業力強化、新商品開発、人材育成、事業多角化、
経営者のやる気等々—

講 師 古賀マネージメント総研株式会社
代表取締役 古賀 光雄氏



講師略歴 (1946年12月1日生)

年	月	職 歴 (役職への就任、退任状況の記入)
1969年	4月	伏見公認会計士事務所入所
1969年	9月	伏見公認会計士事務所退所
1975年	1月	アーンスト・アーンスト・ジャパン会計事務所入所
1977年	10月	アーンスト・アーンスト・ジャパン会計事務所退所
1978年	1月	等松・青木監査法人 (現 有限責任監査法人トーマツ) 福岡事務所入所
1988年	7月	当法人社員 (現 パートナー) 就任
1995年	5月	当法人代表社員 (現 パートナー) 及びトーマツコンサルティング(株)代表取締役就任
1996年	4月	鹿児島事務所長就任
1997年	10月	トーマツ・ベンチャーサポート(株)代表取締役就任
2011年	12月	有限責任監査法人トーマツ福岡事務所退所
2012年	1月	古賀公認会計士事務所設立
2012年	2月	古賀マネージメント総研株式会社設立

以上現在に至る

その他外部委員など

一般社団法人九州ニュービジネス協議会「新規事業支援委員会 副委員」
経済産業省「地域イノベーション創出実証研究補助事業採択審査 委員」
公益財団法人かごしま産業支援センター「かごしま産業おこし挑戦事業審査委員会 委員」
九州経済産業局中小企業支援ネットワーク事業 巡回アドバイザー
飯塚市販路開拓支援補助金審査委員
長崎県新事業チャレンジ応援事業に係る採択審査会 審査委員
財団法人熊本県起業化支援センター「投資先選定委員会 審査委員」
熊本県産業政策顧問
元国立大学九州工業大学 経営協議会委員
元熊本大学客員教授
元福岡大学商学部非常勤講師
元経済産業省創造技術研究開発費補助金九州経済産業局審査会 審査委員

MEMO
